

平成17年度第2回幹事会報告

平成17年7月14日

於：国立病院機構京都医療センター

[出席者]

幹事（小田中徹也、寺澤裕子、増田 徹、松井美抄枝、山室眞智子）、事務局長（林 伴子）

[各部からの報告事項ならびに検討結果]

事務局（総務・会計）：(1) 会員異動：院長交代/明石市立市民病院・宇治徳洲会病院・豊橋市民病院、担当者交代/洛和会音羽病院 (2) 病院図書館研究会創立30周年記念大会 (05/05/11東京) 祝電を打電 (3) 日本医学図書館協会総会 (05/05/19-20 新潟) 小田中、若杉両氏が出席 (4) 第88回近畿地区医学図書館協議会例会 (05/05/11大阪) 増田氏が出席 (5) 近畿地区医学図書館等シンポジウム（幹事館：大阪大学、近畿大学）に実行委員として中村雅子氏（大阪府立母子保健総合医療センター）が参加 (6) 第28回医学情報サービス研究大会 (05/07/09-10 名古屋) 編集部より2名を派遣 (7) 病院図書館研究会会長退任。会長代行は直江理子氏（市立旭川病院）

研修部：第20回勉強会を開催 (05/06/22)、参加者数は17名（研修部3名を含む）。第108回研修会は、セミナーイン長野として長野赤十字病院を会場に開催する予定 (05/08/26-27) ワークショップテーマについて検討し5題が決定。

会誌編集部：25巻1-2号は初校中。25巻3号は特集名「図書館ネットワーク」で原稿依頼済み。広告掲載料の価格については25巻が年3回の発行となるので発行回数に応じたものとする。名簿については別冊として本体とは別に編集発行。

統計調査部：集計もれがあったため、修正作業を行う。

目録編集部：データの修正方法など、Web版で

の扱いの打ち合わせをサンメディアと行った。主な確認事項：1) 基本となるのはCD-ROM版 2) 現行データは各機関で修正を行う 3) 書誌情報変更（新規・廃刊・誌名変更など）の挿入・修正はサンメディアで行う 4) データの表示・公開方法・機能など、幹事会で検討決定すること 5) 東海地区での総合目録と基本的には同じ など。

作業日程：10月の幹事会で説明→11月完成→12月の研修会で実際の運用について確認→1月にまだ必要と思う会員がいれば再度説明会を行う。

[協議決定事項]

1. 幹事役割について・部長の交代

山室氏より、今後のことも考慮し、目録編集に専念したいとの申し出があった。本来なら部長は幹事が務めるが、今期の幹事は8名のうち4名が編集部所属して、研修部長を兼務するのは困難である。そこで、今期に限り幹事ではないが林事務局長が部長代行として、研修部活動（開催企画運営）・幹事会への報告を行うこととする。

2. 研究助成金申請について

1) 中村雅子（大阪府立母子保健総合医療センター）：仮想図書館第1期研究 2) 中村友紀（星ヶ丘厚生年金病院）：病院図書館の業務分析
以上2題の応募があった。審査委員会に代えて幹事会で審査決定とする。

3. 文書様式の総務での保管ならびに文書発送業務について

総務での文書の様式の保管を徹底すること。

4. 会員への病図協活動についてのアンケート調査

担当者向けと管理者向けの2種類とし、9月に発送、10月回収を目標に別紙案をもとに作成。幹事会に諮ったあと調査を行う。

第3回幹事会は、10月に関西労災病院で開催予定。日程については目録の説明をしてもらうことにするため、できるだけ全員の参加が可能なように日程を調整する。